

	A.D. 1800	A.D. 1900	A.D. 1950
	19世紀初頭 ヨーロッパにおける 集成材の原型の出現	1900年代初頭 接着による集成材の出現と ヨーロッパ内での伝播	木構造暗黒時代(1960年代~1980年代) (大型木造建築の禁止による、1987年の木造規制緩和まで) 木質プレハブ構法の開発
ヨーロッパ	1800年初頭 ヨーロッパで釘とボルトなどによる 組み立てアーチ材出現 1800年頃 木製アーチ材を橋に用いる	1927年(デンマーク) コペンハーゲン中央駅アーチを応用した集成材アーチ	1979年(オーストラリア) ウイナーフェルトの教会(一方向ラーメンの大スパン構造) 1985年(スウェーデン) ロカ・ブルンの屋内水泳場 (大断面集成材の大スパンラーメン構造)
ドイツ		1809年 フランスの陸軍大佐エミーの開発したアーチ材を橋に應用[板を平らに置き、釘とボルトで一体化]	1972年 ミュンヘンのオリンピック自転車競技場 (集成材の屋根材と斜材とを圧縮束材とボルトで剛接合)
イギリス	1779年 世界最古の鉄骨造	1852年 キングクロス駅(木の板を重ねた半円アーチの上屋) 1951年 英国博覧会入場門(スパン100m、集成材アーチ)	
フランス		1867年 世界最古のRC造	1962年 ジョワンピルの屋内競技場(集成材アーチ)(フランスの初期集成材構造) 1973年 エビナルの博覧会ホール(湾曲集成材による空間構造)
スイス		1893年 接着剤集成材(カゼイン接着剤)を考案、オーディトリウム(集成材構造の最初の建物、スパン40mの3ヒンジアーチ) 1907年 数枚のラミナを耐水接着剤で接着した湾曲集成材についてスイスで特許 1910年 湾曲集成材による歩道橋(積層接着木材、スパン33m)	
アメリカ	1804年 トレントン橋(木造アーチ橋) (集成材が最初に使われた構造物?) (接着集成材ではない?)	1920年代 接着集成材の技術アメリカに伝わる 1930年代 レゾルシノール樹脂接着剤が開発され、現代の集成材に至る 1934年 米園林産試験場の倉庫(集成材アーチ) 1942年 フェノール・レゾルシノール樹脂接着剤による集成材出現(耐水性高く、耐久性に信頼)	1983年 タコマドーム(集成材ドーム)
日本	1538年 本尊十一面観世音菩薩立像 (麦漆と呼ばれる接着剤による寄木作り) (日本の集成材の原型?) 1708年 東大寺大仏殿(柱に集成材工法) これは現在の定義では「集成材」には含まれませんが、 集成材と同様の特長を持つ工法であるといえます。	1950年代~1960年代前半 日本における集成材の導入 1950年(S25) 建築基準法制定 1960年代中頃 集成材に関する規格の制定 1951年(S26) 日本林業技術教会の森林記念会館 (日本初の構造用湾曲集成材円弧状アーチ) 1962年(S37) 新発田市立厚生年金体育館(集成材3ヒンジアーチ) パツハの森コミュニティーセンター 六甲山の喫茶店(集成材による3ヒンジ山形ラーメン)(集成材建築) 1963年(S38) 構造用集成材製造基準 (日本木材加工技術協会) 1966年(S41) 集成材の日本農林規格制定 (農国第1055号) 1971年(S46) 構造用集成材に対する許容応力度 (建設大臣通達) 戦時中 ゼロ戦などの飛行機のプロペラ	1995年(H7)~2000年(H12) 1980年代半ば 木造建築の復興 構造用集成材と接合金物による 一方向半剛接ラーメンを用いた 木造輪組構法 1974年(S49) 枠組工法のオープン化 1983年(S58) 太陽の郷スポーツセンター 建築基準法改正 (湾曲集成材2ヒンジアーチ・簡易耐火建築物 準耐火建築物の位置づけ) 1984年(S59) 1985年(S60) 北海道立林業試験場集成材棟 (湾曲集成材+通直集成材による門形フレーム) 1986年(S61) 構造用大断面集成材の日本農林規格制定 1987年(S62) 建築基準法改正(木造規制緩和) 1992年(H4) 出雲ドーム(集成材とピアノ線による張弦ドーム) 1973年(S48) 所沢聖地霊園(集成材建築) 海の博物館(集成材アーチ構造) 1974年(S49) 熊本県畜産研究所(集成トラス屋根) 集成材の日本農林規格全面改訂 (造作用、化粧ばり造作用、構造用、化粧ばり構造用の各規格) 1978年(S53) 農林省試験場の工作室・倉庫(湾曲集成材アーチ構造)
			1997年(H9) 大館樹海ドーム (日本最大の構造用集成材建築物)